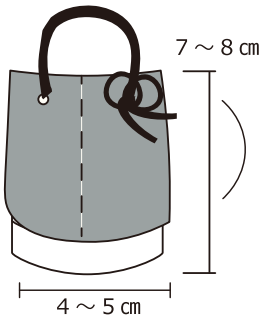
lolo Basketry

lolo Arribdi mini



材料

・ラフィア（ブレード、とじ用ラフィア）

とじ用のラフィアが短くなった時や切れた時は、ひとつ結び、ハタ結びでつなぎます。

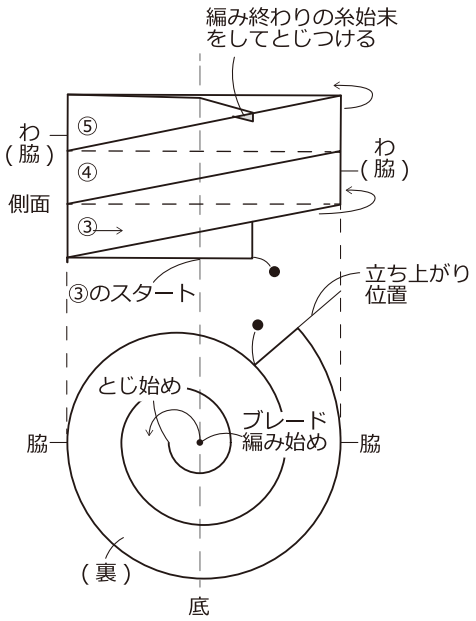
・とじ針 / レザー用縫い針 / 蠟引き糸

・レザーボディ / ハンドル用レザーコード

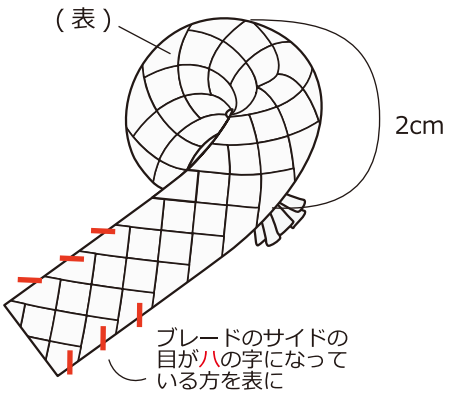
ラフィアとは

ラフィア椰子の葉から採れる天然繊維、とても丈夫です。使うほど繊維に含まれる樹脂によって艶と柔らかさが増していきます。

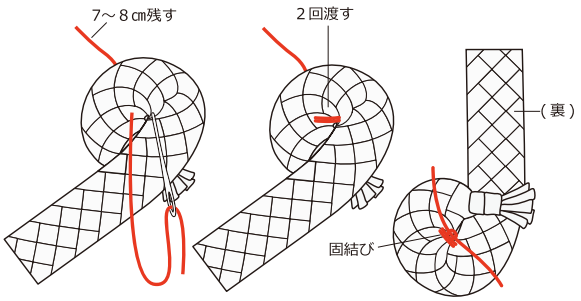
編むことによりさらに丈夫になり、ブレード編みのバッグや帽子は末永く使えるものになります。そんなラフィアブレードでかわいいミニバスケットを作りましょう。



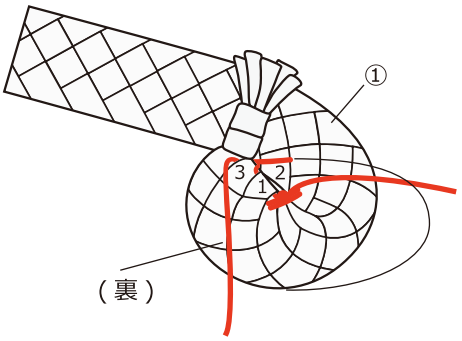
本体の底を作る（円の平面の作り方）



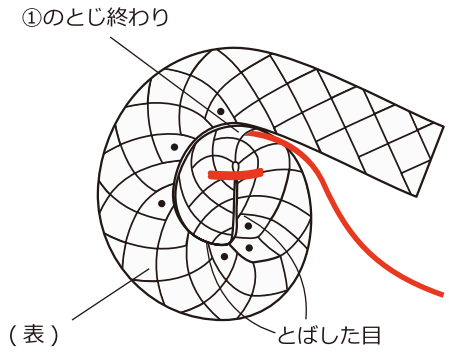
1. ブレードの編み始めから 2cm のところで折り曲げます。裏表に注意してください。



2. とじ針にとじ用ラフィアを通し図のように裏から 2 回渡して裏で 2 回固結びをする。

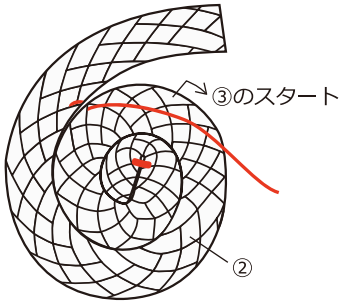


3. 裏に返し、隣り合ったブレードの目を交互に下からすくうようにひろってとじ合わせる。（図は 3 目とじたところ。）



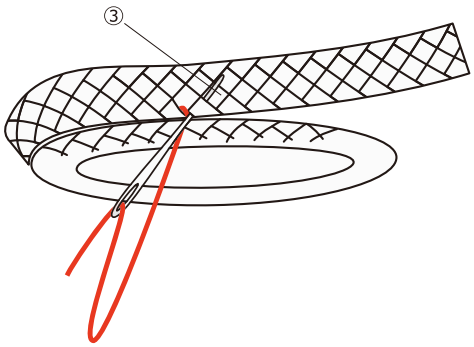
4. 表に返してカーブ部分をとばし（•）、隣り合った目を交互にひろって※1 平らにとじる。以降、表を見ながらとじていく。

※1 平らになることを優先して適宜外側のブレードを 1 目おきにとばす。



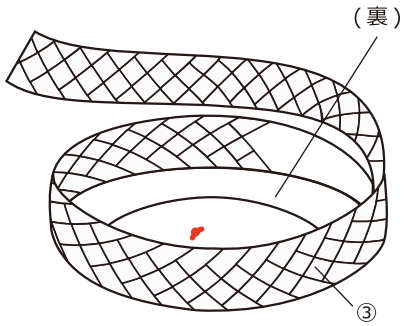
5. 同じ要領で隣り合った目を交互にひろいながら、2 周目（②）を平らにとじる。とじ用のラフィアが見えなくなるくらいの力加減で引く。

側面を作る（垂直に立ち上げる方法）

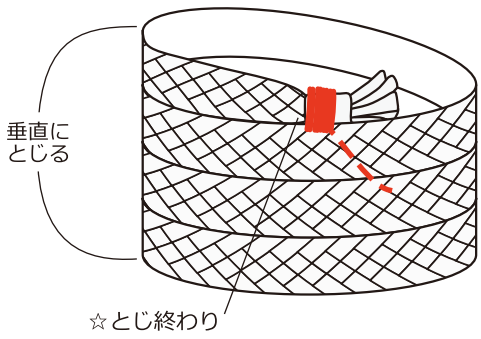


6. ブレードを立ち上げ、隣り合った目をとばさずに全てひろいながら※2 垂直に立ち上げる。

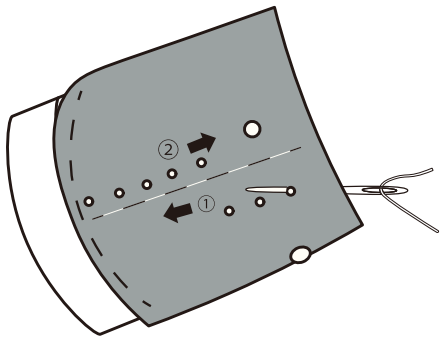
※2 全てひろうと窄まったり、底が丸くなりすぎるときは上の段の目を適宜とばして調整する。



7. 隣り合った目をひろいながら、垂直にとじ進めて側面を作る。上に向かって窄まってしまう場合は、適宜上の段の目をとばす。



8. とじ進めてきたとじ用ラフィアでブレードの編み終わり部分を本体に数回巻き付けて縫いとめ、ブレードの裏の目に斜めに通して引き、内側でカットする。



9. レザー用の針に蝋引き糸を通します。まず、筒状にするレザーの端（縦の合わせ目）の一番上の穴に、裏側から針を入れます。このとき、内側に 5cm ほど糸を残しておきましょう。縦の合わせ目をなみ縫いで下まで縫い進め、そのまま続けて、かごと縫い合わせる部分（外周）をなみ縫いで 2 周します。その後、再び縦の合わせ目をなみ縫いで上に向かって縫い戻り、スタート位置に戻ります。最後は裏側でかた結びをします。レザーコードを通して完成です。